

能登半島地震発生から1カ月たった2月15日、現地に入った。ちまご半島への大動脈である「と里山海道」が、半島中央付近の能登空港近くまで通行を再開した日。のと鉄道も開通区間を延ばす



山田健太・専修大教授寄稿 能登地震とメディア

復旧へ報道 中長期的視点を

など、徐々にではあるが復旧に向けてのITコン整備が、進んでいる。ただし、相変ならず多くの地区で断水が続き、停電が解消されていない。場所も少なくない。携帯電話もまだまだ通じづらい。話もまだまだ通じづらい。だが、現場のIT秀才放送大規模天然の教訓が生かされることができよう。現時点は第2期と言われる第3期に分けると訪れた。大災害と報道のあり方について寄稿してもらった。

「毎回の温かい食事を供給...」
「毎回の温かい食事を供給...」
「毎回の温かい食事を供給...」

3面へ続く



飲食店悲鳴 「更新の負担重

7月3日からデザインを一新した3種類を発行する。刷新は2004年以降20年ぶり。表の円札が北里柴三郎。財務省による側面での技術に抗するため、3次元で発行の偽造を世界で初めて採用する。新紙幣発行後も現行の紙幣は引き続き使える。

「更新の負担重...」
「更新の負担重...」
「更新の負担重...」

新紙幣の発行で使えなくなる可能性がある券売機を前に話す1店舗「曹」の棚田史人店員

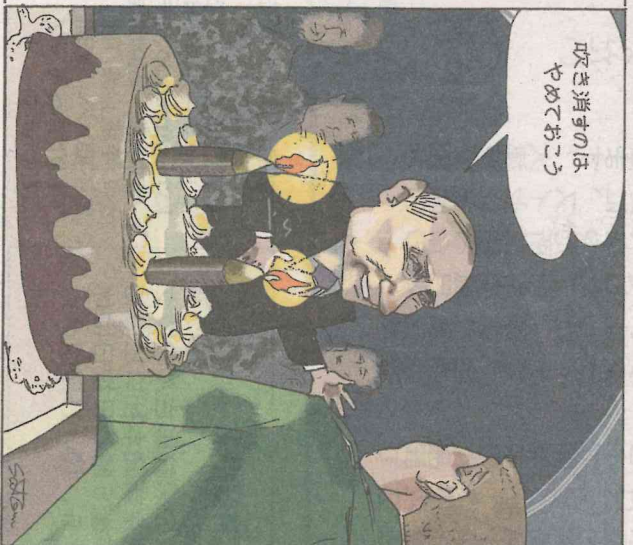
原料高に追い打ち 葛飾区、30万円補

区内には昔ながらの商店街が残る。区によると、卸売業者の多くは葛飾区に拠点を置いている。50万円まで補助している。区内には昔ながらの商店街が残る。区によると、卸売業者の多くは葛飾区に拠点を置いている。50万円まで補助している。

惨劇の



「アチャコ共同」ロシア...
「アチャコ共同」ロシア...
「アチャコ共同」ロシア...



侵攻2周年

佐藤 正明

2024.2.25

《各出版社の良書と案内》
朝倉書店、NHK出版、左右社
春秋社、晶文社、農山漁村文化協会
平凡社、みすず書房
きよつこの2・3面をご覧ください。

広告

